平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年８月２日

上 場 会 社 名　　焼津水産化学工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　2812　　URL　http://www.yskf.jp
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　山本 和広
問合せ先責任者　(役職名)　経営統括本部 経理部長　(氏名)　大勝 利昭　　(TEL) 054-202-6044
四半期報告書提出予定日　　平成25年８月９日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	4,909	△5.1	335	△15.0	397	1.6	245	△1.2
25年３月期第１四半期	5,170	△1.8	394	8.4	391	△0.7	249	5.9

(注) 包括利益 26年３月期第１四半期　441百万円(116.8%)　25年３月期第１四半期　203百万円(△12.9%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	18.29	－
25年３月期第１四半期	17.73	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	21,906	18,457	84.3
25年３月期	21,626	18,190	84.1

(参考) 自己資本 26年３月期第１四半期　18,457百万円　　25年３月期　18,190百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	10.00	－	13.00	23.00
26年３月期	－				
26年３月期(予想)		10.00	－	13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	10,275	0.7	665	10.6	720	19.7	430	24.4	30.81
通期	21,110	1.4	1,555	11.7	1,655	13.7	1,010	13.9	72.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　－ 社（社名）　　、除外　　－ 社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	14,056,198株	25年３月期	14,056,198株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	605,820株	25年３月期	605,779株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	13,450,409株	25年３月期１Ｑ	14,050,609株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）のわが国経済を取り巻く環境は、雇用情勢の厳しさは残るものの、安倍政権の経済政策アベノミクスによる円高是正や株価上昇を背景として、個人消費の持ち直しやデフレ状況の緩和も加わり、徐々に景気回復へ向けた動きが出てきております。

このような中、当社グループでは、新中期経営計画「Change ＆ Challenge」の初年度にあたり、これまで取り組んできた子会社を含めた事業構造改革で得た筋肉質な収益構造を維持しつつ、自らが“変化”し、新しいことに“挑戦”していく企業風土を醸成しながら、更なる企業価値向上と持続的な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

具体的には、４つの柱（ⅰ．既存事業の深化、ⅱ．新商品・サービス開発、ⅲ．新規顧客開拓、ⅳ．新事業領域開拓）へ経営資源を集中投入すべく、販売及び開発の体制を見直し、既存事業を強化しつつ新規開拓専任の部署を設けて新たな分野への仕掛けを始めています。また、製造面では、今秋から掛川市で新工場の建設が始まり、生産性及び品質の向上に向けた取り組みやBCP対策も着実に進んでおります。これらの施策を確実に成果に結び付けるため、各部署で数値目標を設定し、その進捗管理を実施することで計画の達成に努めました。

連結売上高につきましては、医療栄養食におけるOEM生産の減少が響き、49億９百万円（前年同四半期比２億61百万円、5.1%減）となりましたが、主力の調味料部門では前年並みの売上を確保することができました。利益面につきましては、売上減少に伴い連結営業利益は３億35百万円（同59百万円、15.0%減）となりましたが、連結経常利益は前期に計上した匿名組合投資損失等がなくなり３億97百万円（同６百万円、1.6%増）、連結四半期純利益は２億45百万円（同3百万円、1.2%減）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めていた「各種わさび類他香辛料」について報告セグメント区分の「調味料」に含めた記載に変更し、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（調味料）

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種わさび類他香辛料の製造販売です。売上高はほぼ前期並みの20億97百万円（前年同期比19百万円、0.9%減）でしたが、セグメント利益（営業利益）は引き続き増加傾向にあり、３億10百万円（同7百万円、2.5%増）となりました。

（機能食品）

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売及び医療栄養食のOEM製造販売ですが、医療栄養食のOEM生産が大きく減少した影響で、売上高は16億43百万円（同１億87百万円、10.2%減）、セグメント利益（営業利益）は２億16百万円（同23百万円、9.8%減）となりました。

（水産物）

水産物は、主に冷凍鮪・冷凍鰹の原料販売並びに加工製品の製造販売です。売上は鮪の販売が輸出向けを中心に好調に推移し、売上高は８億85百万円（同８百万円、1.0%増）となりましたが、前期から続く原料高の影響でセグメント利益（営業利益）は22百万円（同２百万円、10.4%減）となりました。

（その他）

その他は、その他商品の販売ですが、売上高は２億82百万円（同62百万円、18.2%減）、セグメント利益（営業利益）は４百万円（同13百万円、74.9%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ２億79百万円増加し、219億６百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が２億98百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が２億１百万円、商品及び製品が１億42百万円、原材料及び貯蔵品が１億63百万円増加したことなどにより１億76百万円増加し、114億５百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券が株価の上昇等により１億65百万円増加したことなどにより、１億２百万円増加し105億円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が２億６百万円、賞与引当金が１億２百万円増加する一方、未払法人税等が１億89百万円減少したことなどにより、31百万円減少し30億68百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が81百万円増加したことなどにより、44百万円増加し３億80百万円となりました。

純資産は利益剰余金が71百万円、その他有価証券評価差額金が１億49百万円増加したことなどにより、２億67百万円増加し184億57百万円となりました。

この結果、自己資本比率は84.3％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、平成25年５月10日に発表いたしました第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,118,530	2,819,657
受取手形及び売掛金	4,814,110	5,015,427
商品及び製品	1,339,387	1,481,626
原材料及び貯蔵品	1,709,522	1,872,598
繰延税金資産	148,956	148,426
その他	106,496	75,418
貸倒引当金	△8,200	△7,550
流動資産合計	11,228,802	11,405,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,420,677	2,409,842
機械装置及び運搬具（純額）	1,266,325	1,270,301
土地	3,419,907	3,433,276
リース資産（純額）	58,597	54,044
建設仮勘定	124,600	63,000
その他（純額）	65,290	70,444
有形固定資産合計	7,355,398	7,300,909
無形固定資産	170,305	166,233
投資その他の資産		
投資有価証券	2,585,426	2,751,229
繰延税金資産	5,486	4,507
その他	293,987	286,530
貸倒引当金	△12,639	△8,621
投資その他の資産合計	2,872,260	3,033,646
固定資産合計	10,397,964	10,500,789
資産合計	21,626,767	21,906,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,904,313	2,110,761
リース債務	18,767	20,366
未払法人税等	343,899	153,981
未払消費税等	38,209	35,086
賞与引当金	115,854	217,912
役員賞与引当金	－	4,998
その他	679,033	525,158
流動負債合計	3,100,076	3,068,265
固定負債		
リース債務	47,254	40,478
繰延税金負債	66,064	147,553
退職給付引当金	199,299	168,983
長期未払金	13,434	13,434
その他	10,465	10,465
固定負債合計	336,520	380,916
負債合計	3,436,596	3,449,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,363,862	11,434,982
自己株式	△489,245	△489,278
株主資本合計	17,906,393	17,977,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,459	447,936
為替換算調整勘定	△14,682	31,794
その他の包括利益累計額合計	283,777	479,731
純資産合計	18,190,170	18,457,210
負債純資産合計	21,626,767	21,906,393

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	5,170,938	4,909,494
売上原価	3,908,908	3,725,147
売上総利益	1,262,029	1,184,347
販売費及び一般管理費	867,592	849,190
営業利益	394,436	335,156
営業外収益		
受取利息	852	2,523
受取配当金	25,135	28,455
受取賃貸料	4,483	4,447
為替差益	－	13,413
その他	9,317	14,706
営業外収益合計	39,789	63,546
営業外費用		
支払利息	45	75
匿名組合投資損失	31,691	－
為替差損	7,052	－
その他	4,077	943
営業外費用合計	42,866	1,018
経常利益	391,358	397,684
特別利益		
固定資産売却益	6	－
投資有価証券売却益	－	7,434
国庫補助金	6,160	－
特別利益合計	6,166	7,434
特別損失		
固定資産除却損	311	6,857
災害による損失	1,015	－
固定資産圧縮損	6,118	－
特別損失合計	7,445	6,857
税金等調整前四半期純利益	390,079	398,262
法人税等	141,027	152,287
少数株主損益調整前四半期純利益	249,051	245,975
四半期純利益	249,051	245,975

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	249,051	245,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70,931	149,476
為替換算調整勘定	25,742	46,477
その他の包括利益合計	△45,189	195,953
四半期包括利益	203,862	441,928
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,862	441,928
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,117,331	1,831,155	876,712	4,825,199	345,738	5,170,938	－	5,170,938
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	－	1,156	1,913	3,070	7,693	10,764	(10,764)	－
計	2,117,331	1,832,311	878,626	4,828,269	353,432	5,181,702	(10,764)	5,170,938
セグメント利益	302,860	239,737	25,249	567,848	18,477	586,325	(191,889)	394,436

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

２．セグメント利益の調整額191,889千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第１四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,097,631	1,643,628	885,446	4,626,706	282,788	4,909,494	－	4,909,494
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	－	－	1,543	1,543	－	1,543	(1,543)	－
計	2,097,631	1,643,628	886,989	4,628,249	282,788	4,911,037	(1,543)	4,909,494
セグメント利益	310,411	216,180	22,634	549,226	4,635	553,862	(218,705)	335,156

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品であります。

２．セグメント利益の調整額218,705千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「各種わさび類他香辛料」について報告セグメント区分の「調味料」に含めて記載することに変更しております。これは、当社グループのオーケー食品株式会社が平成25年３月31日付けで当社に事業譲渡を行い、同日付けで解散したことにより、当社において「調味料」と「各種わさび類他香辛料」とを一体として業績を評価することとしたためです。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第１四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報」に記載しております。

変更後の各報告セグメントの主要な製品及びサービスは次のとおりであります。

（報告セグメント）

調味料	各種エキス、各種オイル、各種スープ、各種粉末調味料、風味調味料、各種具材・惣菜、各種低塩調味料、調味料類受託加工、各種わさび類他香辛料
機能食品	各種海洋性機能性素材、キチン・キトサン・オリゴ糖類、医療栄養食を含む各種機能食品、各種機能食品受託加工
水産物	冷凍マグロ・カツオ加工、水産物問屋業、倉庫業